
なな

こはる亭

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

なな

【Nコード】

N8271H

【作者名】

こはる亭

【あらすじ】

猫のななはグランドの隅のタイヤの遊具の中に居た。それがななとの出会いだった。

猫のななは、グランドの隅のタイヤ遊具の中にいた。

生まれて2、3カ月は経っていたようだが痩せて、顔つきも「人間なんか信じない」と、言う顔をしていた。

余程、人間に痛い目をうけた様に思える。

私が、ななを見つけた時も　やはり子供達に砂をかけられて虐められていた。

ななは、逃げようとするがまだ身体は小さいので、すぐに連れ戻されて砂をかけられた。

「止めなさい！　可哀想じゃないか！」

「だって　こいつ歯向かうから・・・」

ななは、子供達から逃れてグランドの倉庫に向かって走り出した。

「今度、動物を虐めたら退部だぞ！」

「すいませんでした」

「さ、グランド整備につけ！」

その時は、ななを家に連れて帰るつもりはありませんでした。

次の練習日、子供達はキャチボールの練習をしていた時、何処からともなくななが私の近くに寄って来た。

「お前、1匹で大丈夫か？何を食べているんだ？」

「二ヤアー」

ななは媚びるわけでもなく、私に向かって鳴いた。

その時、ボールが飛んで来たのに驚いてななは、また 走り去って行った。

「また、捕って来たのか！」

「ニャー」

「見せに来なくていいよ！」

ななは、家の周りの鼠などを捕っては私に見せに持って来る。

ななを飼いだして1年が経とうとしている。

ななは、飼い猫になっても私以外には懐かないでいる。

先輩猫達にも、挨拶はなかった様だ。

ななの目は、鋭く輝き野生を忘れ無いために狩をしているのではないかと思われる。

「最近、家に帰らないな？」

「ななでしょ。何処に行って遊んでいるんだか？懐かない猫は、可愛くないはよ！」

と、妻が言た。

今朝は、胸騒ぎがした！

「ねえー花屋の向かいの道で、猫が死んでいるらしいはよ」

急いで見に行った！

道の隅に黒い猫が、横たわっていました。

「なな・・・」

猫を終えて帰る途中だったのでしよう。

帰る家があるばかりに・・・

短い一生でしたが、私の記憶に深く残る可愛い猫でした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8271h/>

なな

2010年11月19日22時22分発行